

## 藍サポ通信 ～明日に向かって～

Vol.27 発行日 2018年1月25日

社会福祉法人藍

大阪市平野区平野南3-11-35

TEL (06) 6799-1065

有限会社 ひらの

大阪市平野区平野西4-7-28

TEL (06) 6703-1711

発行責任者 保田 八十次

編集 藍サポートネットワーク広報委員会

<http://ai-snet.com>

藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。

## 謹 賀 新 年

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健康で明るく良い年を迎えられました事を心よりお慶び申し上げます。

さて、当法人では、本年より町内会の圏域における高齢者を中心とした活動に、放課後等デイサービスのスペースをご利用いただくこととなりました。より身近な方々との顔の見える関係をとおして、地域での見守りや隣近所のつながりを深めたいとの要望から、町内会の会長・婦人部長、地域包括支援センター、地域福祉コーディネーターからの依頼を受けて実現したもので、平野区では前例のない取組みとなります。平野西一丁目の町内会ということで「にしいちカフェ」と名付けられた活動で、当面、高齢者を中心とした呼びかけで開催される予定ですが、徐々に当法人の利用者の方にも参加いただけるような内容にし、障がい理解の向上にもつながることを期待しているところです。

昨年10月、超大型台風21号の影響により大和川が氾濫危険水位に達し、一部の地域で避難勧告が発令されましたが、実際に災害に見舞われるのではないかと不安を覚えた方は多くいらっしゃったのではないのでしょうか？高齢や障がいのため、災害時に自力で避難することが困難な方にとってはより深刻な不安さがあったと想像します。そのような災害時に援護が必要な方（要援護者）の名簿作成や福祉避難所・緊急入所施設の指定など、大阪市においても多くの災害対策が検討され、想定される災害時の体制強化が図られているところです。前述の豪雨の際にそそれが機能していたという実感がなかったのが正直な印象でした。

自分自身で自分を守ること（自助）が困難な場合、行政による支援や援助（公助）が必要になりますが、近年の我が国における多くの災害経験のなかにおいて、いざという時の地域の助け合い（共助）の重要性が認められています。そのような共助を築くためにも「にしいちカフェ」のような地域活動などをとおして、これから益々、地域に貢献できる価値のある事業所を目指して行きたいと考えています。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

社会福祉法人藍 理事長 保田八十次

有限会社ひらの 代表取締役 保田眞規生



## 活動報告

神戸や京都などの定番の観光地からフードフェスティバルやコンサートといったイベントなど様々なところに利用者さんと移動支援で一緒にでかける機会があります。行き先や楽しみ方など、人それぞれ違うので、ヘルパーとして感じる事や度合いはその日によって異なります。その中でも、昨年十一月に、利用者さんと一緒に出掛けた大阪ハーモニープラスさんの音楽コンサートは印象的でした。座席に着席し、照明が薄暗くなると突然、迫力ある音楽が鳴り響きました。それと同時に利用者さんは体をビクッとさせ、目を大きく見開き、とっつてもびっくりした表情に変わったのです。私にはとてつもなく大きな衝撃を受けたように思えました。一瞬にしてコンサートに引き込まれ、リズムに乗って身体を右へ左へと動かし、静かな曲になると「し〜〜〜」と言って隣に座った利用者さんに静かにするよう小さな声で伝える場面も。また、休憩時間にはパンフレットから次回の公演日を見つけられ、「この日空けといて」と言って次回のコンサートにも参加したい意思表示をしていただけたのには驚きました。普段から音楽が好きな方ですが、ここまで楽しんでくれるとは思いませんでした。

日常を忘れ、非日常に浸れる余暇の時間は利用者さんにとっても大事な時間であることを再度認識した一日となりました。より満足してもらえるように平成三十年もやっていきたいと思えます。

記事担当 山川

## 第二 ひらのより

**Blow new wind** ~願いをこめて~

第二ひらのでは、去年の10月から新しい仲間を迎え、利用者数が12人になりました。心機一転、新しい活動に取り組んでいます。以前より人が増えた事もあり、好きな事や、やりたい事もバラバラで自分たちのやりたい事が出来てない、やりたい活動が選択出来ていない、困っている事がある、など利用者さんの中で色々な思いがあり、“自分たちの事は自分達で決めていくのが大切”そんな当たり前の事が出来ていなかった事に気が付きました。このままではみんなの気持ちがまとまらないと考え、利用者さん同士での話し合いの時間を活動の中で作りました。

利用者さんみんなで考えてもらった結果「行事の事、活動の事、当番の事、など自分達の事は自分で決めたい」と話がまとまり、週に1度話し合いをする活動を作る事になりました。みんなで意見を出しやすくする為に、グループを作り、利用者さん主体で活動を進めてもらう為にみんなで話をして、会長、副会長、書記を選挙で決める事になりました。なりたい役割を説明して立候補してもらい、決定しました。現在は会長、副会長、書記がみんなを引っ張って活動を進行してくれています。この活動で毎月するレクリエーションや、帰る前にみんなで歌う歌を決めたりもしています。この活動の他にも、体調面、将来的な健康面（体重の増加、機能維持）を考え楽しく身体を動かす機会を作れたらと、「リズム体操」を取り入れました。職員とコミュニケーションを取りながら皆さん楽しく身体を動かされています。

その他には「指文字」という活動を作り将来的に手話で歌を歌えるようになったり、劇が出来たりする様になる事で、家族さんやネットワークの他に事業所、外部の方に発表する機会を作り、さまざまな人と触れ合う事で人と人との繋がりを感じてもらったり、やりとげた事での達成感や充実感を感じて欲しいと考えています。その他にも箸袋入れを作る活動を始めています。将来的には今まで作っていたビーズアクセサリーとの販売を考えて活動に取り組んでいます。これからも色々な活動を通じて人と関わることの大切さや、自分たちの気持ちを伝える事の大切さを日々の過ごしの中で経験をしていき職員も利用者も成長していける事業所になればと思います。

新しい風が吹きますように…

第二 ひらの スタッフ一同

## 活動報告

## グループ活動 ～買い物～

今回は、生活介護ひらので新しく結成した買い物チームを紹介します。

買い物チームは、ひらのに来る一人一人が自分の役割を意識して過ごせるようにと調理員の児玉さんに協力してもらい、自分達が食べる給食に使う食材の買い出しをしようと週二回ですが行なっています。自分達が買って来た食材が給食に出ると、

「これは買い物チームが買ってきてくれた物ですよ。」と、なかまに伝えています。その事が「自分の役割だ！」と実感を持っていければ、給食がより美味しく感じ、また、役割意識につながると思っています。

また、生活介護 ひらのでは、次の目標として、製品として作成しているはがき、メッセージカード、キーホルダーとアロマキャンドルを販売するお店を出したいと考えています。まずは、事業所の前からはじめ、少しずつ地域へ進出していけたらいいなと思っています。

ぜひ、アロマキャンドル、メッセージカード、キーホルダーなど、プレゼントとしてご購入いかがですか。

お問い合わせ：06-6799-1065

生活介護 ひらの 倉本まで

放課後等デイサービス  
くれよん

## 活動報告



## クリスマス会



くれよんではおともだちへのクリスマスプレゼントに『まつぼっくりツリー』を作りました。プレゼントということもあり、こどもたちは集中して色ぬりや飾り付け等をしていました。「これ僕も持って帰りたいなあ」「めっちゃ上手に出来たで」と嬉しそうに話してくれていました。

クリスマス会では、社会福祉法人 藍 くれよんと地域生活支援センター HIRANO くれよんととの二事業所での交流をしました。

マジックショーやいすとりゲームをしてみんなで楽しみ、おともだちのことを思い、作ったまつぼっくりツリーをお互いに交換していました。



## お正月遊び



あけましておめでとうございます！今年もよろしく申し上げます。新年が始まり、子供たちと一緒に色々なお正月遊びをしました。凧揚げや羽子板、書き初めに福笑い... 書き初めでは、みんな思い思いの言葉を上手に筆で書いたり、羽子板では、負けたおともだちの顔に墨で落書きをしたり、みんなで初笑いでした！職員お手製のお友達カルタ大会もしました。句が読まれるとみんなお友達のことを思い浮かべて「はいっ！」とカルタをとり、大盛り上がりでした。

近くの神社にお参りにも行きました。みんなそれぞれしっかりとお祈りしていました。そのあとは、寒さに負けず、みんなで公園でマラソン大会もしましたよ。



## リスクマネジメント委員会より

平成 29 年 11 月 24 日（金）地域生活支援センターHIRANO 3F で  
普通救命講習Ⅰを行いました。応急手当普及員の資格を持つ職員が指導に  
当たり、放課後等デイの職員など 11 名が参加しました。

講習内容は DVD による応急手当の重要性等など学習を行い、  
その後はグループごとに分かれ蘇生訓練用の人形を使い、心肺蘇生法、  
AED の使用方法の説明と実技訓練を行いました。心肺蘇生法の中の胸骨圧迫  
の実技訓練では押す場所、力の入れ方、体の向きなど応急手当普及員からアド  
バイスをもらいながら参加者全員が訓練に取り組んでいました。

この講習を受けると普通救命講習修了証が大阪市消防局から交付されます。

今後も藍サポートネットワークではこの講習を実施し、  
多くの職員の応急手当てについての意識を高めていきたいと思ひます。



「障がい」の記載について、藍サポ通信～明日に向かって～では「障がい」の記載方法を明確にするため、法律や公的に記載されているものを除いて「障がい」とひらがなで記載しています。法律名称や公的に漢字で記載されているものについては「ひらがなに変換せずに」そのまま記載しています。

藍サポートネットワークでは随時職員・ボランティアを募集しています。

経験の有無を問わず介護サービスに従事されることを希望される方は下記連絡先までご連絡下さい

社会福祉法人 藍 大阪市平野区平野南 3 - 11 - 35

TEL (06) 6799 - 1065

有限会社 ひらの 大阪市平野区平野西 4 - 7 - 28

TEL (06) 6703 - 1711

メールアドレス：asn@ ai-snet.com

ホームページでは藍サポートネットワークの様々な情報提供をしています。

当季刊誌もカラーでご覧いただくことが出来ます。また、季刊誌に掲載する事のできなかった記事・情報についても順次ホームページに掲載していきますので、是非ご活用下さい。

ホームページ：http:// ai-snet.com または Google 「藍サポートネットワーク」で検索

## あじがね

新年を迎え、益々寒い日が続きますね。また冬は乾燥して、風邪をひきやすいのでしっかりと防寒、風邪対策をして外に出かけた方がよさそうですね。

皆さんお正月はどのように過ごしましたか？私は祖母の家を訪れ、おせち料理、炬燵でみかんを堪能する等、寝正月で過ごしていました（笑）

ちなみにおせち料理とは、正月に食べるお祝いの料理で、「おせち」とは本来、曆上の節句のことを指します。その際に食べる料理をおせち料理と呼んだため、現在では節句の一番目にあたる正月の料理を表す言葉として使われています。おせち料理は”めでたさを重ねる”という意味で縁起をかつぎ、重箱に詰めて出されます。また、みかんには風邪予防、美肌効果、疲労回復、便秘解消等の効果が含まれているそうです。是非食して下さい。

広報で様々な事を記事にして、皆さんに読んでいただきたいと思っています。  
今年も宜しくお願いします。

広報委員会 記事担当 倉本